

ホラッ 3月の 屋外園が呼んでいますよ！！

京都市青少年科学センター

不思議だらけの 竹

竹(タケ)は、イネ科に属する植物で、温暖で湿潤な地域に分布しています。ササは寒冷地にも自生します。通常は、地下茎を広げ、地下茎からタケノコが直接生えることでふえていきます。これは、無性生殖の一種である栄養生殖で、次々とタケノコが生えることによって生息域を広げて竹林となるのですが、これらの竹はすべて遺伝子が同一のクローンです。やがて竹林全体が花を咲かせて有性生殖を行い、子孫をつくったのちに一斉に枯れてしまいます。花が咲くことは極めてまれで、おおよそ60年から120年周期で開花し一斉に枯れることが知られています。



一晩で50~60cmも成長する筍(タケノコ)

植物の根や茎の先端にあって細胞分裂を行う部分を生長点といいます。竹の場合は節にあります。筍(タケノコ)を料理するとき、筍を縦に切るとひだひだのようなものがあります。これはのちに節となる部分で50~60個あるので、一つ当たり1cm伸びても全体としては50~60cm伸びることになるのです。



「弥生」3月 草木が勢いよく芽生える頃

屋外園のあちこちで春が生まれています。あなたはいくつ見つけられますか？ さあ！春を見つけに屋外園に出てみましょう！

アセビ(ツツジ科)

低山の日当たりのよい所に多く見られます。つぼ形の白い花がたくさん垂れ下がって咲きます。有毒植物です。「馬酔木」と書きます。

ショウジョウバカマ

(シュロソウ科・旧ユリ科)
春の山地で見られます。葉の上に咲く紅色の花を、能楽の猩猩の赤頭の毛に、葉を袴に見立ててつけられた名です。

レンギョウ

(モクセイ科)

中国原産の木。細く長く伸びた枝に多数の黄色い花をつけます。華やかな春の庭を彩ります。

シュンラン(ラン科)

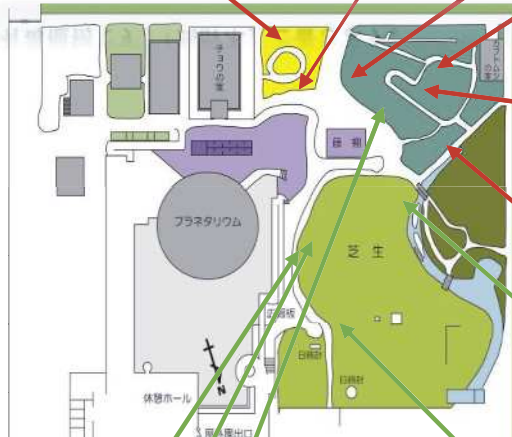
落葉樹林内に生えるランです。春に花が咲くので「春蘭」といいます。花を塩漬けにしたものを蘭湯(らんゆ)として祝いの席に使われます。

コバノミツバツツジ(ツツジ科)

早々と3月中旬に葉に先立って枝先にピンク色の花を咲かせます。葉が枝先に3枚ずつ付くのでこの名がつけました。春の低山を彩ります

ユキヤナギ(バラ科)

細くやなぎのように垂れ下がった枝に白い花を多数咲かせます。花びらは5枚でバラの花に似ています。



屋外 岩石園の紹介 Part2 堆積岩

岩石はその成因から、マグマが冷えて固まった火成岩(かせいがん)、川底や海底で土砂や生物のからが積もってきた堆積岩(たいせきがん)、それらが後に熱や大きな圧力で変化した変成岩(へんせいがん)に分類されます。

凝灰岩(ぎょうかいがん) 火山灰が地上や水の底に積もって固まったもの。地層を対比するときかぎ層として役立つ。建築用資材として使われることもある。

礫岩・砂岩・泥岩 岩石が風化・浸食され、水のはたきで運搬されてきた土砂が川や湖、海の底で積もって固まったもの。粒の性質や種類ではなく、粒の大きさだけで名前が決まっている。

緑色岩(りょくしょくがん) 海底火山の噴出物が海底で固まってできたもの。玄武岩質の溶岩や火山噴出物からできており、変質を受け緑色を呈するものが多い。そういう意味で弱変成岩として扱われることもある。

粒が0.06mm以下	0.06~2mm	粒が2mm以上
泥岩(でいがん)	砂岩(さがん)	礫岩(れきがん)

3月

花だより

京都市青少年科学センター



ユキヤナキ



レンギョウ



ボケ

屋外園の散策に ご自由にお使いください。使い終わったらもとにもどしてください。



シダレザクラ



陽光桜



サンシュユ



アセビ



コバノミツバツツジ



ヤマザクラ



マンサク



ジュンラン



スイセン



ソメイヨシノ



ショウジョウハカマ



ヒメオドリコソウ



オオキバナカタバミ



シロバナタンポポ